

障害福祉サービス等に関するアンケート

精神入院者用

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

広島市では現在、平成27年度から平成29年度までを計画期間とする第4期広島市障害福祉計画の策定に向けた取組を進めています。そのため、市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てることを目的にアンケート調査を実施することになりました。

この調査の対象者は、市内の精神病院に入院されている方の中から無作為に抽出して選ばせていただいています。

ご回答いただいたアンケートの内容については、個人を特定できるような形で公表されることは一切ありませんので、ご協力くださいますようお願いいたします。

【お答えいただく前に】

- このアンケート票に名前を書いていただく必要はありません。個人の秘密は守られますから、安心してお答えください。もし、答えたくないことがありましたら、無理にお答えいただく必要はありません。
- この調査は、病院のスタッフなどの協力を得て、できるだけ障害のあるご本人がお答えください。
ご本人が記入できない場合やご本人が答えにくい場合には、代わってどなたかが、ご本人の意見を聞きながら、又は、ご本人の立場に立って、気持ちを考えながらお書きください。
- 医療従事者によるアンケート調査も実施します。あなたにとって適当だと思われる制度やサービスなどを把握するための調査です。この調査の実施につきましても、併せて御了承いただきますようお願いいたします。
- 回答は、☐ の中のあてはまる項目の番号に○をつけてください。なお、「その他」の場合には、() の中にその具体的な内容をお書きください。

ご記入いただいたアンケート票は、封筒に入れて、病院のスタッフへ提出してください。

連絡先

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

広島市健康福祉局精神保健福祉課

電話 082-504-2228

FAX 082-504-2256

Eメール shougai@city.hiroshima.jp

● あなたご自身（障害者ご本人）のことについておたずねします。

問1 あなた（障害者ご本人。他の問も同様。）の年齢、性別について記入してください。性別については、あてはまるものに○をしてください。

年齢（数字を記入）	性別
さい 歳	1. おとこ 男 2. おんな 女

問2 あなたの住まいはどちらですか。（○は1つ）

1. なかく 中区	2. ひがしく 東区	3. みなみく 南区
4. にしく 西区	5. あさみなみく 安佐南区	6. あさきたく 安佐北区
7. あきく 安芸区	8. さえきく 佐伯区	9. その他

問3 あなたの障害の種別や、お持ちの障害者手帳の等級等はどれですか。

(1) 精神障害者保健福祉手帳（○は1つ）

1. 1 級	2. 2 級	3. 3 級	4. もっていない
--------	--------	--------	-----------

(2) 自立支援医療（精神通院）受給者証

1. もっている	2. もっていない
----------	-----------

(3) 発達障害（発達障害の診断名）

1. アスペルガー症候群又は高機能自閉症	
2. 自閉症	3. 1、2以外の広汎性発達障害
4. 学習障害（LD）	5. 注意欠陥多動性障害（ADHD）
6. その他（	）
7. ない	

(4) 高次脳機能障害

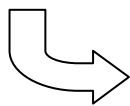
1. ある	2. ない
-------	-------

(5) 療育手帳（○は1つ）

1. ㊤	2. A	3. ㊦	4. B	5. もっていない
------	------	------	------	-----------

(6) 身体障害者手帳（○は1つ）

1. 1 級	2. 2 級	3. 3 級	4. 4 級
5. 5 級	6. 6 級	7. もっていない	



身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。

身体障害の種類(部位)はどれですか。(○はいくつでも)

1. 目が不自由 (視覚障害)
2. 耳が不自由 (聴覚又は平衡機能障害)
3. ことばが不自由、ものがかめない (音声・言語・そしゃく機能障害)
4. 手足が不自由 (上肢機能障害、下肢機能障害、移動機能障害、体幹機能障害)
5. じん臓、心臓、呼吸器、肝臓、小腸又はぼうこう・直腸の障害 (内部障害)
6. ウイルスによる免疫機能の障害 (免疫機能障害)

(7) 難病

1. 難治性疾患克服研究事業 (130疾患) の対象になっている難病
2. 関節リウマチ
3. その他
4. ない

問4 あなたの年金や手当を含む1か月あたりの収入はどのくらいですか。18歳未満の方は、世帯の収入をお答えください。

1か月あたりの収入	約	円
-----------	---	---

問5 収入のある方におたずねします。あなたの1か月あたりの収入の内訳はどのようになっていますか。18歳未満の方は、世帯の収入をお答えください。

事業による収入	約	円
給与による収入	約	円
工賃 (就労支援サービスや作業所での活動により支給される収入)	約	円
年金 (障害基礎年金、老齢基礎年金、遺族年金等の年金)	約	円
手当等 (特別障害者手当等の手当、心身障害者扶養共済年金)	約	円
仕送りや家族の援助による収入	約	円
生活保護	約	円
その他 ()	約	円

● 生活の場についておたずねします

問6 あなたの現在の住まいは、次のどれですか。(○は1つ)

1. 自分名義の持ち家（分譲マンションも含む） → 問7へ
2. 家族名義の持ち家（分譲マンションも含む） → 問7へ
3. 市営住宅、県営住宅等 → 問7へ
4. 民間の賃貸マンション・借家・アパート → 問7へ
5. 寮・社宅・公務員住宅等 → 問7へ
6. グループホーム、福祉ホーム（バリアフリー化され世話人などが配置された共同住宅）
→ 問8へ
7. 入所福祉施設、生活訓練施設 → 問8へ
8. その他（ ） → 問8へ

問7 問6で1から5のいずれかに○をつけた方におたずねします。あなたが、一緒に住んでいる方はどなたですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|--------------|------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者（夫又は妻） | 2. 子ども | 3. 親（父・母） | 4. 祖父母 |
| 5. 孫 | 6. 兄弟姉妹 | 7. その他の親族 | 8. 友達・仲間 |
| 9. いない | 10. その他（ ） | | |

問8 全員におたずねします。退院後、地域で暮らすとしたら、不安に思うことは主にどんなことですか。(○は3つまで)

1. 住まいが見つかるか
2. 支援をしてくれる人や仲間がいるか
3. 家族が反対するのではないか
4. 生活費が確保できるか
5. 困ったときの相談や緊急時の援助が受けられるか
6. 地域（近所）の人達が障害を理解してくれるか
7. 地域（近所）の人達と友達や仲間になれるか
8. 交通機関や医療機関などの生活環境が整っているか
9. どんな生活になるかわからないのでなんとなく不安
10. 特に不安はない
11. わからない
12. その他（ ）

問9 全員におたずねします。あなたは、退院後どこで暮らしたい（暮らす予定）ですか。

1. 入院前と同じ住まい → 問10へ
2. 入院前と違う住まい → 問11へ
3. わからない → 問12へ

問 10 問 9 で「1. 入院前と同じ住まい」に○をつけた方におたずねします。その理由は何か。
 問 9 で「1. 入院前と同じ住まい」に○をつけた方におたずねします。その理由は何か。
 ですか。(○は1つ)

1. 入院前の住まいに満足しているから
2. 他に住むところを知らないから
3. 引越しが面倒だから
4. グループホーム等に入居したいが、手続きが面倒だから
5. その他 ()

→ 問 12 へ

問 11 問 9 で「2. 入院前と違う住まい」に○をつけた方におたずねします。

(1) 退院後どこで暮らしたい(暮らす予定)ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(分譲マンションも含む)
2. 市営住宅、県営住宅等
3. 民間の賃貸マンション・借家・アパート
4. 寮・社宅・公務員住宅等
5. グループホーム、福祉ホーム(バリアフリー化され世話人などが配置された共同住宅)
6. 入所福祉施設
7. 病院
8. わからない
9. その他 ()

(2) 入院前の住まいについて特に不満に思っていたことは何ですか。(○は3つまで)

1. 建物(住まい)に段差があるなどバリアフリー化されていなかった
2. 建物(住まい)をバリアフリーに改造できなかった
3. 周囲の交通機関や公共施設などの環境が整備されていなかった
4. 必要な時に介護や医療のサービスを受けられなかった
5. 仲間や家族と一緒に住めなかった
6. 自由時間やプライバシーがなかった
7. 自立できなかった
8. 介護などで家族に負担がかかった
9. 家賃などの費用が高かった
10. 特にない
11. その他 ()

→ 問 12 へ

問 1 2 全員におたずねします。地域で障害者の住まいを確保するために特に必要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)

1. 建物（住まい）がバリアフリー化されている（バリアフリー化できる）こと
2. バリアフリーのための住宅改造等（リフォーム）の費用の補助があること
3. 保証人がいなくても入居できるようにすること
4. 入居できる一般住宅の紹介や斡旋をするサービスがあること
5. バリアフリー化された市営住宅等を充実すること
6. 共同で生活し、介助等の支援を受けられる住まい（グループホーム等）を増やすこと
7. 個別で生活し、必要な時にすぐに支援を受けることができる住まいを増やすこと
8. 住まいに関する相談や紹介を行う相談窓口を設けること
9. 特にない
10. その他（ ）

問 1 3 全員におたずねします。住まいの確保のほかに障害者が地域で生活するために特に必要だと思うことは何ですか。(○は2つまで)

1. 身近に介助者や相談できる相手がいること
2. 身近に仲間や家族がいること
3. 地域で生活できるだけの収入があること
4. 周囲の交通機関や公共施設などの環境が整備されていること
5. 防犯や災害時の支援などの仕組みが整っていること
6. 地域の人たちに障害や障害者への理解があること
7. 地域に休日や夜間でも外来診療や入院が可能な病院・診療所があること
8. 特にない
9. その他（ ）

問 1 4 ^{とい} 全員^{ぜんいん}におたずねします。福祉^{ふくし}のまちづくり（バリアフリー化）について、広島市^{ひろしまし}が重点^{じゅうてんてき}的に進^{すす}めていく必要^{ひつよう}があるのはどのようなことだと思いますか。（○は3つまで）

1. 乗^のり降^おりがしやすいバス・電^{でん}車^{しゃ}を増^ふやすこと
2. 駅^{えき}の階^{かい}段^{だん}・段^{だん}差^さ、改^{かい}札^{さつ}口^{ぐち}等^{とう}を整^{せい}備^びすること
3. 公^{こう}共^{きょう}の建^{たて}物^{もの}の階^{かい}段^{だん}・段^{だん}差^さ、出^で入^い口^{ぐち}等^{とう}を整^{せい}備^びすること
4. 道^{どう}路^ろの段^{だん}差^さ、誘^{ゆう}導^{どう}ブロッ^とク等^{とう}を整^{せい}備^びすること
5. 視^{しか}覚^く障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}向^むけの音^{おん}声^{せい}案^{あん}内^{ない}や音^{おん}響^{きょう}信^{しん}号^{ごう}機^き、聴^{ちやう}覚^{かく}障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}向^むけの文^も字^じ案^{あん}内^{ない}など^{じゅうじつ}を充^{じゅう}実^{じつ}すること
6. 交^{こう}通^{つう}機^き関^{かん}や公^{こう}共^{きょう}の建^{たて}物^{もの}など^{ひょうじ}で、わ^{いろ}か^{かつ}り^{よう}や^{ひょうじ}す^{ひょうじ}い^{ひょうじ}マ^{ひょうじ}ー^{ひょうじ}ク^{ひょうじ}や色^{いろ}を^{かつ}活^{かつ}用^{よう}し^{ひょうじ}た^{ひょうじ}表^{ひょう}示^じ（ユ^{ひょう}ニ^じバ^じー^じサ^じル^じ）を^{じゅうじつ}充^{じゅう}実^{じつ}すること
7. 道^{どう}路^ろ上^{じょう}に^{じてん}あ^{かん}る^{ばん}自^じ転^{てん}車^{しゃ}や^{つう}看^{こう}板^{ばん}な^{さまた}ど^{さまた}通^{つう}行^{こう}の^{もの}妨^{せい}げ^りに^{てっきょ}な^{てっきょ}る^{てっきょ}物^{てっきょ}を^{てっきょ}整^{せい}理^り・撤^{てき}去^{きょ}す^{てき}こと
8. 車^{くる}い^ます^ま使^{しやう}用^{しやう}者^{しやう}用^{しやう}駐^{ちゅう}車^{しやく}区^く画^{かく}を^{じゅうじつ}充^{じゅう}実^{じつ}すること
9. 障^{しょう}害^{がい}者^{がい}等^{とう}に^{はいりょ}配^{はい}慮^{りょ}さ^{じゅうじつ}れた^{じゅうじつ}エ^{じゅうじつ}レ^{じゅうじつ}ベ^{じゅうじつ}ー^{じゅうじつ}タ^{じゅうじつ}ー^{じゅうじつ}を^{じゅうじつ}充^{じゅう}実^{じつ}すること
10. 車^{くる}い^ます^ま使^{しやう}用^{しやう}者^{しやう}等^{とう}対^{たい}応^{おう}ト^{じゅうじつ}イ^{じゅうじつ}レ^{じゅうじつ}を^{じゅうじつ}充^{じゅう}実^{じつ}すること
11. 特^{とく}に^{とく}な^{とく}い^{とく}
12. そ^たの^た他^た（^た）

- 福祉サービス等の利用状況についておたずねします。サービスの概要については、別紙の一覧表も参考にしてください。

問 1 5 あなたは、障害支援区分（障害福祉サービスの必要性を明らかにするため心身の状態を総合的に示す区分）の認定を受けていますか。（○は1つ）

1. 区分1の認定を受けている	2. 区分2の認定を受けている
3. 区分3の認定を受けている	4. 区分4の認定を受けている
5. 区分5の認定を受けている	6. 区分6の認定を受けている
7. 非該当の認定を受けている	8. 認定を受けていない

問 1 6 障害福祉サービス等について、あなたは次のサービスを、退院後、利用したいと考えますか。（番号に○）してください。

区 分	今後利用したいか	
	したい	しない
① 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で入浴や排せつ、食事などの介護を行うサービス	1	2
② 重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ食事などの介護や外出時の移動の補助を行うサービス	1	2
③ 同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービス	1	2
④ 行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介護や外出時の移動の補助などを行うサービス	1	2
⑤ 重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービス	1	2
⑥ 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービス	1	2
⑦ 自立訓練（機能訓練） 身体機能・生活能力の維持・向上のための必要な訓練を行うサービス	1	2

区 分	今後利用したいか	
	したい	しない
じりつくねん せいかつくねん ⑧自立訓練（生活訓練） 地域での生活に困らないよう必要な訓練を行うサービス	1	2
しゅうろういこうしえん ⑨就労移行支援 つうじょう じぎょうしょ はたら かた いってい きかん しゅうろう 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に ひつよう ちしきおよ のうりよく こうじょう くんねん おこな 必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービス	1	2
しゅうろうけいぞくしえん エーがた ⑩就労継続支援（A型） 企業等で働くことが困難な方に、就労の機会 ^{しゅうろう きかい ていきょう} の提供や せいさんかつどうとう きかい ていきょう ちしき のうりよく こうじょう 生産活動等の機会 ^{しゅうろう きかい ていきょう} の提供、知識や能力の向上のための くんねん おこな さーびす 訓練を行うサービス（雇用契約あり）	1	2
しゅうろうけいぞくしえん エーがた ⑩就労継続支援（A型） 企業等で働くことが困難な方に、就労の機会 ^{しゅうろう きかい ていきょう} の提供や せいさんかつどうとう きかい ていきょう ちしき のうりよく こうじょう 生産活動等の機会 ^{しゅうろう きかい ていきょう} の提供、知識や能力の向上のための くんねん おこな さーびす 訓練を行うサービス（雇用契約あり）	1	2
しゅうろうけいぞくしえん ビーがた ⑪就労継続支援（B型） はたら こんなん かた しゅうろう きかい ていきょう 企業等で働くことが困難な方に、就労の機会 ^{しゅうろう きかい ていきょう} の提供や せいさんかつどうとう きかい ていきょう ちしき のうりよく こうじょう 生産活動等の機会 ^{しゅうろう きかい ていきょう} の提供、知識や能力の向上のための くんねん おこな 訓練を行うサービス（雇用契約なし）	1	2
りょうようかいご ⑫療養介護 いりよう ひつよう かた つね かいご ひつよう かた おも ひるま 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間 びょういんとく きのうくんねん りょうようじょう かんり かんご に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護など ていきょう を提供するサービス	1	2
たんきにゅうしょ ⑬短期入所（ショートステイ） ざいたく しょうがいしゃ じ かいご かた びょうき ばあい 在宅の障害者（児）を介護する方が病気の場合などに、 しょうがいしゃ しせつ たんきかんにゅうしょ にゅうよく はい しょくじ 障害者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の かいご おこな 介護などを行うサービス	1	2
きょうどうせいかつえんじょ ⑭共同生活援助（グループホーム） やかん きゅうじつ きょうどうせいかつ おこな じゅうきょ にゅうよく はいせつ 夜間や休日、共同生活を行う住居で、入浴、排泄、 しょくじ かいご そうだん にちじょうせいかつじょう えんじょ おこな 食事の介護や相談、日常生活上の援助を行うサービス	1	2
しせつにゅうしょしえん ⑮施設入所支援 しゅ やかん しせつ にゅうしょ しょうがいしゃ じ たい 主として夜間、施設に入所する障害者（児）に対し、 にゅうよく はい しょくじ かいご しえん おこな 入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービス	1	2
そうだんしえん ⑯相談支援 ふくし かん もんだい かいごしゃ そうだん おう ひつよう 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な じょうほう ていきょう じょげん おこな 情報の提供や助言などを行うサービス	1	2

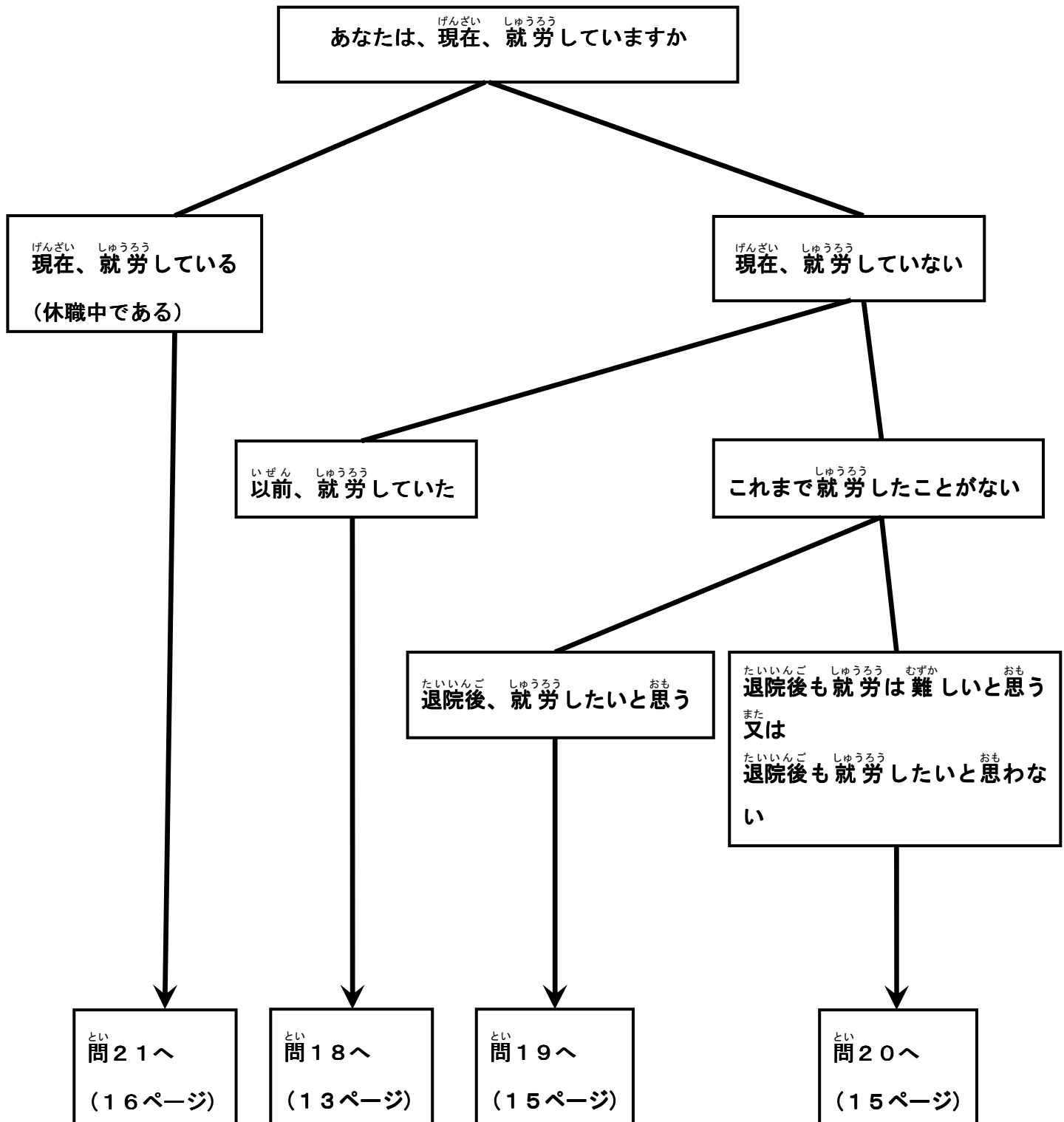
区 分	今後利用したいか	
	したい	している
⑰移動支援、社会参加支援ガイドヘルパー 円滑に外出できるように、移動を支援するサービス	1	2
⑱地域活動支援センター 創作活動又は生産活動の機会の提供を行うサービス	1	2
⑲日中一時支援 施設などで日中に見守りなどを行うサービス	1	2
⑳児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、 集団生活への適応訓練などの支援を行うサービス	1	2
㉑放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、生活能力 向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進など の支援を行うサービス	1	2
㉒保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障害児に対して、障害児以外の児童と の集団生活への適応のための専門的な支援などを行う サービス	1	2
㉓医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、 集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービス	1	2
㉔福祉型児童入所支援 障害児入所施設に入所する障害児に対して、保護・ 日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービス	1	2
㉕医療型児童入所支援 障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする 障害児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の 付与や治療を行うサービス	1	2
㉖その他 ()	1	2

問 1 7 福祉サービス等について、広島市が重点的に、事業者を増やしたり質を向上させるなどの取組をする必要があるのはどのようなことだと思いますか。(〇は5つまで)

1. 在宅での生活を支える居宅介護（ホームヘルプ）などの訪問サービス
2. 外出を支援するサービス
3. 一時的に家庭での生活が困難になった場合に利用する短期入所（ショートステイ）や日中一時支援
4. 早期の療育
5. 障害児を対象とした通所サービス（「児童発達支援」「放課後等デイサービス」など）
6. 障害児を対象とした入所サービス（「福祉型児童入所支援」など）
7. 放課後に活動できる場（「特別支援学校放課後対策事業」など）
8. 夏休みなどの長期休暇中に活動できる場（「いきいき活動事業」など）
9. 夏休みなどの長期休暇中の保護者などの活動を支援する事業（「障害児の長期休暇支援事業」など）
10. 介護や療養を行う通所サービス
11. 介護や療養を行う入所サービス
12. 在宅で利用できる医療的なケア
13. グループホームなどにおけるサービス
14. 機能訓練や生活訓練
15. 外出の機会を増やすよう助成する事業（「公共交通機関利用助成事業」など）
16. コミュニケーションを支援する事業
17. 企業等で働くための訓練
18. 企業等で働くことが困難な障害者に対する福祉的就労の場の提供
19. 各種サービスに係る利用者負担の軽減制度
20. 弁当などの配食サービス
21. 特にない
22. その他（

)

- 就労（一般企業での就業や自営業・内職等の就労をいい、作業所などでの福祉的就労を除きます。）についておたずねしますので、次の図であてはまるところの質問を回答してください。



問 18 以前、就労していた方におたずねします。複数の就労経験がある方は、一番最近の就労についてお答えください。(休職中の方は除きます。)

(1) あなたは、どのような働き方で仕事をしていましたか。(○は1つ)

1. 自営業	2. 家の仕事の手伝い	3. 正規の職員・社員	4. 契約社員・嘱託員
5. 内職	6. 日雇い	7. パート・アルバイト	8. 派遣社員
9. その他 ()			

(2) あなたは、仕事をする上で、障害や病気があることをオープンにしていましたか。

1. していた	2. していなかった
3. 就労していた時は、障害や病気ではなかった	

(3) あなたは、転職をしたことがありますか。

1. ある	2. ない
(下の () 内にも記入してください)	
転職の回数 () 回	

(4) あなたは、平均して1日に何時間くらい、また、1週間に何日くらい働いていましたか。

1日の勤務時間 (数字を記入)	1週間の勤務日数 (数字を記入)
1日に 時間くらい	1週間に 日くらい

(5) あなたが、仕事をやめた理由は何ですか。(○は4つまで)

1. 希望する仕事ではなかったため → (6)へ	2. 希望する働き方でなかったため → アへ
3. 勤務時間が長かったため → イへ	4. 勤務時間が短かったため → イへ
5. 勤務日数が多かったため → ウへ	6. 勤務日数が少なかったため → ウへ
7. 賃金が安かったため → (6)へ	8. 通勤が困難であったため → (6)へ
9. 職場で差別や偏見があったため → (6)へ	
10. 障害や病気に対して配慮してもらえなかったため → (6)へ	
11. 職場で良い人間関係が築けなかったため → (6)へ	
12. 障害の原因となる病気やケガのため → (6)へ	
13. その他の病気やケガのため → (6)へ	
14. 定年退職のため → (6)へ	
15. 特にない → (6)へ	
16. その他 ()	

ア 問18(5)で「2. 希望する働き方でなかったため」に○をつけた方におたずねします。

あなたは、どのような働き方を希望していましたか。(○は2つまで)

- | | | | |
|------------|-------------|--------------|-------------|
| 1. 自営業 | 2. 家の仕事の手伝い | 3. 正規の職員・社員 | 4. 契約社員・嘱託員 |
| 5. 内職 | 6. 日雇い | 7. パート・アルバイト | 8. 派遣社員 |
| 9. その他 () | | | |

→ (6)へ

イ 問18(5)で「3. 勤務時間が長かったため」又は「4. 勤務時間が短かったため」に○をつけた方におたずねします。あなたが希望していた勤務時間は、1日に何時間くらいですか。

1日の勤務時間 (数字を記入)		時間くらい
-----------------	--	-------

→ (6)へ

ウ 問18(5)で「5. 勤務日数が多かったため」又は「6. 勤務日数が少なかったため」に○をつけた方におたずねします。あなたが希望していた勤務日数は、1週間に何日くらいですか。

1週間の勤務日数 (数字を記入)		日くらい
------------------	--	------

→ (6)へ

(6) あなたは、今後の就労についてどう思いますか。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1. 就労したいと思う | → 問21へ |
| 2. 今後も就労は難しいと思う | → 問22へ |
| 3. 就労したいと思わない | → 問22へ |

問 1 9 退院後、就労したいと思っている方におたずねします。現在、就学前の方及び就学中の方は、学校を卒業した後のことについてお答えください。

(1) あなたは、今後、どのような働き方で仕事をしたいですか。(○は2つまで)

- | | | | |
|------------|-------------|--------------|-------------|
| 1. 自営業 | 2. 家の仕事の手伝い | 3. 正規の職員・社員 | 4. 契約社員・嘱託員 |
| 5. 内職 | 6. 日雇い | 7. パート・アルバイト | 8. 派遣社員 |
| 9. その他 () | | | |

(2) あなたは、就労によってどのくらいの月収を希望しますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| 1. 3万円未満 | 2. 3万円以上5万円未満 | 3. 5万円以上10万円未満 |
| 4. 10万円以上15万円未満 | 5. 15万円以上20万円未満 | 6. 20万円以上 |

→ 問 2 1 へ

問 2 0 現在、就労していない方で、退院後も就労する予定のない方(「退院後も就労は難しいと思う」又は「退院後も就労したいと思わない」方)におたずねします。就労する予定がない主な理由は何ですか。(○は4つまで)

- | | | |
|-----------------------------------|---------------------|-------------|
| 1. 障害が重いため | 2. 病気のため | 3. 高齢のため |
| 4. 家事・育児が忙しいため | 5. 地域活動を行うため | 6. 通勤が困難なため |
| 7. 働きたくないため | 8. 働く必要がないため | 9. 賃金が安い |
| 10. 希望職種の雇用がないため | 11. 自分に合う勤務日数がないため | |
| 12. 自分に合う勤務時間がないため | 13. 自分に合う職種がわからないため | |
| 14. 職場での差別や偏見が心配なため | | |
| 15. 職場で良い人間関係を築けそうにないため | | |
| 16. 現在、作業所や施設で福祉的就労に従事しており、続けたいため | | |
| 17. 特にない | | |
| 18. その他 () | | |

→ 問 2 1 へ

問 2 1 全員におたずねします。障害者が就労するために特に必要だと思ふことは何ですか。

(○は5つまで)

1. 通勤しやすいこと	2. 働きながら安心して通院できること
3. 希望する勤務時間を選ぶこと	4. 希望する勤務日数を選ぶこと
5. 障害に応じた仕事があること	6. 賃金面で満足のいく待遇が受けられること
7. 自宅で仕事ができること	8. 職場での差別や偏見を無くすこと
9. 職場で良い人間関係が築けること	10. 職場に指導者がいること
11. 職場に介助者がいること	12. 職場に理解者がいること
13. 相談できるジョブコーチ（障害者が職場に対応できるよう、障害者や雇用主等に対して支援・助言等を行う援助者）などの支援者がいること	
14. 生活面での相談もできる窓口があること	
15. 職場に障害者用の設備や機器が整っていること	
16. 就職前に自分の仕事の適性を判断・評価してもらうこと	
17. 就職前に専門的な技能を習得するための訓練を受けること	
18. 就職前に生活のリズムを整えるなどの訓練を受けること	
19. 希望する職場で試験的に一定期間働く機会があること	
20. 障害者を雇用する企業を増やすこと	
21. 自らが事業を営む（親族の事業を引き継ぐ場合も含む）ために、計画や経営、資金の支援があること	
22. 特にない	
23. その他（)	

● ICT（情報・コミュニケーション技術）の利用についておたずねします。

問 2 2 あなたは、福祉に関する情報を、主にどこ（誰）から入手しますか。（○は3つまで）

1. 広報紙「ひろしま市民と市政」	2. 市のホームページ
3. 新聞やテレビ、ラジオ	4. 市のホームページ以外のインターネット
5. 区役所などの市の窓口	6. 福祉施設、事業所
7. 医療機関	8. 障害者団体、患者団体など
9. 民生委員・児童委員	10. 障害者相談員
11. 家族や友人・知人	12. 特にない
13. その他（)	

問 2 3 あなたは、インターネットを利用したパソコンやその他の通信機器（パソコンに近い機能のある多機能携帯電話（スマートフォン等））を持って（使って）いますか。

1. 持って（使って）いる → 問 2 4 へ 2. 持って（使って）いない

問 2 4 問 2 3 で「1. 持って（使って）いる」に○をつけた方におたずねします。

(1) あなたは、パソコン等の使い方をどこで（誰から）覚え了吗か。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 自分で勉強した | 2. 家族や友人・知人など |
| 3. 小学校・中学校・高校 | 4. 職場や福祉施設など |
| 5. パソコン教室 | |
| 6. その他（ | ） |

(2) あなたは、パソコン等をどのような用途で使っていますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. 仕事 | 2. 学習 |
| 3. 買い物 | 4. ゲームなどの遊び |
| 5. ブログやホームページ等の閲覧 | 6. 自分のブログやホームページ等での発信 |
| 7. 情報の検索や相談 | 8. 銀行振り込み（ネットバンキング） |
| 9. メール、掲示板、ツイッター等によるコミュニケーション | |
| 10. 特にない | |
| 11. その他（ | ） |

● ^{そうだんとう}相談等についておたずねします。

^{とい}問 2 5 ^{なや}あなたが、^{こま}悩みや^{こま}困ったことを^{そうだん}相談するのは^{だれ}誰（どこ）ですか。（○はいくつでも）

1. ^{かぞく} 家族・ ^{しんせき} 親戚	2. ^{きんじょ} 近所の人
3. ^{ゆうじん} 友人・ ^{ちじん} 知人	4. ^{くやくしょ} 区役所、 ^{じどうそうだんしよ} 児童相談所などの ^{ぎょうせいきかん} 行政機関
5. ^{しょうがいしやだんたい} 障害者団体、 ^{かんじゃだんたい} 患者団体や ^{かぞくかい} 家族会	6. ^{みんせいいいん} 民生委員・ ^{じどういいん} 児童委員
7. ^{しょうがいしやそうだんいん} 障害者相談員	8. ^{そうだんしえんじぎょうしよ} 相談支援事業所
9. ^{しせつ} 施設や ^{さぎょうしよ} 作業所の ^{しよくいん} 職員	10. ^{せわにん} グループホームの世話人
11. ^{きょたくかいご} 居宅介護のヘルパー	12. ^{はったつしょうがいしやしえん} 発達障害者支援センター
13. ^{ちいきほうかつしえん} 地域包括支援センター	14. ^{しゃかいふくしきょうぎかい} 社会福祉協議会（ ^{たんとうしや} かけはしの担当者）
15. ^{いし} 医師や ^{かんごし} 看護師などの ^{いりょうかんけいしや} 医療関係者	16. ^{がっこう} 学校の ^{せんせい} 先生
17. ^{しよくば} 職場の人	
18. ^{しょうがいしやしゅうぎょう} 障害者就業・ ^{せいかつしえん} 生活支援センター	
19. その他（	）
20. ^{なや} 悩みや ^{こま} 困ったことはない	
21. ^{そうだん} 相談したいができない（しない）	→ ^{とい} 問 2 6 へ

→ 「21. ^{そうだん}相談したいができない（しない）」以外に○をした方は^{いがい}問 2 7 へ

^{とい}問 2 6 ^{とい}問 2 5 で「21. ^{そうだん}相談したいができない（しない）」と答えた方におたずねします。^{そうだん}相談で
^{おも}きない（^{りゆう}しない）^{なん}主な理由は何ですか。（○は2つまで）

1. ^{だれ} 誰（どこ）に ^{そうだん} 相談していいかわからない
2. ^{みちか} 身近な ^{ちいき} 地域に ^{そうだん} 相談できるところがない
3. ^{やかん} 夜間や ^{きゅうじつ} 休日などに ^{そうだん} 相談するところがない
4. ^{そうだん} 相談しても ^{まんぞく} 満足な ^{じよげん} 助言や ^{かいとう} 回答が ^え 得られない
5. プライバシー保護に ^{ほご} 不安がある
6. ^{とく} 特にない
7. その他（
）

→ ^{とい}問 2 7 へ

問 2 7 全員におたずねします。広島市には、障害者の相談に応じて、福祉サービスの利用援助
 各種情報の提供、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成を行っている
 相談支援事業所がありますが、知っていますか。(〇は1つ)

1. 相談したことがある
2. 場所や連絡先を知っているが、相談したことはない
3. あるのは聞いたことはあるが、場所や連絡先がわからない
4. 知らない

問 2 8 全員におたずねします。サービス等利用計画・障害児支援利用計画やセルフプランは
 作成していますか。(〇は1つ)

1. サービス等利用計画を作成した
2. 障害児支援利用計画を作成した
3. セルフプランを作成した
4. 作成していない
5. わからない

問 2 9 全員におたずねします。相談事業を充実するために(相談したときに満足できるよう)
 特にどのようなことをすればいいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 相談員のスキルアップ研修を行う
2. 専門性のある相談員を配置する
3. 気軽に相談できる窓口の数を増やす
4. 専門的な相談機関を整備する
5. 1か所でさまざまな相談に対応できる窓口を整備する
6. 夜間や休日なども相談できる窓口を整備する
7. 相談員が自宅などに来てくれる訪問相談を行う
8. 障害者による相談対応(ピアカウンセリング)を充実する
9. 特にない
10. その他 ()

● 障害者の権利を守る取組についておたずねします。

問30 全員におたずねします。障害者権利条約や障害者差別解消法について、お答えください。

(1) 障害者権利条約について知っていますか。(〇は1つ)

1. 条約の内容も含めて知っている
2. 詳しい内容は知らないが、知っている
3. 知らない

障害者権利条約（正式名「障害者の権利に関する条約」）は平成18年12月に採択されたもので、障害がある人の権利を保護するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のあるなしに関わらず暮らしやすい環境を整えるための施策を幅広く定めています。日本は、平成26年1月20日に世界で141番目の条約締約国となり、同年2月19日から国内で条約が発効しています。

(2) 障害者差別解消法が制定されたことを知っていますか。(〇は1つ)

1. 法律の内容も含めて知っている
2. 詳しい内容は知らないが、知っている
3. 知らない

障害者差別解消法（正式名「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」）は、平成25年6月に、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的として制定された法律で、平成28年4月1日から本格的に施行されます。

問31 障害者に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。(〇は1つ)

1. 深まっている
2. まあまあ深まっている
3. どちらとも言えない
4. あまりそう思わない
5. まったく思わない

問32 あなたは、これまでに、障害や病気があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。

1. ある → 問33へ
2. ない → 問34へ

問 3 3 問 3 2 で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。それはどのようなことですか。
(○はいくつでも)

1. 無視された
2. じろじろ見られた
3. いやなことを言われた
4. 暴力をふるわれた
5. 話しかけたり意見を言ったりしても、相手にされなかった
6. 仲間はずれにされた
7. 自分のお金や持ち物を無断で使われた、処分された
8. 自分宛に届いた手紙やメールなどを勝手に読まれた、内容を教えてもらえなかった
9. 自由に外出させてもらえなかった
10. 職場で賃金や待遇に差をつけられた
11. 一方的に解雇された
12. 施設やお店の利用や交通機関への乗車を拒否された
13. 通いたい学校などへの入学を断られた
14. 希望する住まいを借りる際に、家主や不動産屋に断られた
15. 結婚や恋愛のときに、相手の家族などから反対された
16. 異性からいやなことをされた
17. その他 ()

→ 問 3 4 へ

問 3 4 あなたは、成年後見制度について知っていますか。(○は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

問 35 障害者の権利を守るため(差別や偏見をなくすため)に、広島市が主にどのような取組をする必要があると思いますか。(〇は2つまで)

1. 障害者の権利を守り、被害を救済するルールづくりなどの取組
2. 障害者が相談できる窓口の整備や相談員のスキルアップ
3. 新たなルールづくりを行うのではなく、今ある法律などの活用
4. 市民の障害及び障害者への理解を深めるための啓発
5. 福祉についての教育の充実
6. 障害者支援や障害者への理解を広める活動などを行うボランティアの育成
7. よくわからない
8. 特にない
9. その他（

● しょうがいしゃし ざく ぜんぱん
障害者施策全般について

問 3 6 今までのお答えを踏まえて、今後、広島市で重点的に進める必要がある障害者施策
はどのようなことだと思いますか。(○は4つまで)

1. 在宅での生活を支援するサービスや、日中活動の場の提供などの福祉サービスを充実すること
2. グループホームなどの障害者の共同住宅を整備すること
3. バリアフリー化された市営住宅を増やすなどの取組を行うこと
4. 道路や建物などの段差を解消するなど、福祉のまちづくりを推進すること
5. 福祉や医療のサービスに係る利用者負担を軽減すること
6. 障害者の就労を促進する取組を行うこと
7. 健康診断を充実するなど、障害者の健康づくりの取組を行うこと
8. 障害者向けの情報提供サービスを充実するなど、情報・コミュニケーション支援を推進すること
9. スポーツやレクリエーション、文化活動などの社会参加活動を推進すること
10. 手当や年金を充実すること
11. 障害や障害者への理解を深めるための啓発を行うなど、障害者の権利を守る取組を推進すること
12. 相談や情報を提供する体制を充実すること
13. 成年後見制度を使いやすくすること
14. 職業に関する教育など、障害者の個々のニーズに対応した教育を充実すること
15. 障害がある子どもと障害がない子どもがともに学ぶ教育を推進すること
16. 放課後や夏休みに活動できる場を充実すること
17. 災害等の非常時の連絡通報・避難体制を整備すること
18. 特にない
19. その他 ()

問 3 7 障害者団体等に、どのような取組を期待しますか。(○はいくつでも)

1. 障害者の生活を支援する取組
2. 行政に対し障害者福祉の改善等を要望する取組
3. 障害者のスポーツやレクリエーション、文化活動などの社会参加活動の支援
4. 障害や障害者への理解を深めるための啓発
5. 障害者の権利を守る取組
6. 相談に応じたり情報を提供する取組
7. 特にない
8. その他 ()

（
いじょう
以上でアンケートは終わりです。ご協 力 ありがとうございます。
お
きょうりょく
つぎ
次のページは自由記入欄です。
じゅうきにゅうらん
）

じゅうきにゅうらん
【自由記入欄】

あなたが、^{ひろしまし}広島市の^{しょうがいしゃふくし}障害者福祉の^{とりくみ}取組について^{おも}思っていることや^{きぼう}希望することなど、
どんなことでも^{じゅう}自由^かにお書きください。

障害福祉サービス等に関するアンケート

〔医療従事者に対するアンケート〕

この調査は、今後、広島市の障害者（障害児を含みます。以下、「障害者」と表記します。）福祉を推進していくための基礎資料を得るために、市内の精神科病院に入院されている方の中から無作為に抽出して実施するものです。

ご回答いただいたアンケートの内容については、個人が特定できるような形で公表されることは一切ありませんので、ご協力くださいますようお願いいたします。

【お答えいただく前に】

- 1 この調査は、広島市内に住所のある入院中の方のうち、「入院者用アンケート」への協力の得られた入院患者について作成してください。
- 2 この調査に名前を書いていただく必要はありません。
- 3 回答は、 の中の該当する項目の番号に○を付けてください。なお、「その他」の場合には、（ ）の中にその具体的な内容を書いてください。
- 4 なるべく、本人のことをよく知っている医療従事者（医師、看護師、精神保健福祉士等）が、アンケート票を作成してください。

ご記入いただいたアンケート票は、本人の「入院者用アンケート票」の封筒にホッチキス止めをして、一緒に提出してください。

連絡先

〒730-8586

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

広島市健康福祉局精神保健福祉課

電 話 082-504-2228

FAX 082-504-2256

Eメール seishin@city.hiroshima.jp

問1 この患者さんは何回目の入院ですか。把握されている回数に○を付けてください。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1. 1回目 | 2. 2回目 | 3. 3回以上 |
|--------|--------|---------|

問2 この患者さんの今回の入院期間は、どの程度ですか。

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 3ヶ月未満 | 2. 3ヶ月以上6ヶ月未満 | 3. 6ヶ月以上1年未満 |
| 4. 1年以上5年未満 | 5. 5年以上10年未満 | 6. 10年以上 |

問3 この患者さんの退院の可能性はどうか。

- | |
|--|
| 1. 病状は安定しており（今後、病状が安定し）、地域移行の条件が整えば、退院可能である
→ 問4へ |
| 2. 病状が安定しても、退院することは難しい → 問5へ |
| 3. 病状は不安定又は病識がない等により、当面入院が必要である → 問6へ |

問4 問3で「1. 病状は安定しており（今後、病状が安定し）、地域移行の条件が整えば、退院可能である」に○を付けられた方におたずねします。退院後の住居は、どのように考えていますか。（○は1つだけ）

- | |
|-------------------------|
| 1. 単身で一般住宅でも可能 |
| 2. 家族と同居なら可能 |
| 3. 病院の近くの共同住宅なら可能 |
| 4. 生活訓練施設、グループホームなどなら可能 |

→問6へ

問5 問3で「病状が安定しても、退院することは難しい」に○をつけられた方におたずねします。退院することが難しいのは、どのような理由ですか。（複数回答可）

なお、「その他」を回答された場合は、その内容を簡単に（ ）に記載してください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 本人の精神病状が再燃する可能性が高い |
| 2. 服薬や金銭管理など、本人の日常生活能力が低下している |
| 3. 本人が退院に対し不安を持ち、モチベーションが低下している |
| 4. 家族が退院に反対している |
| 5. 家族の高齢化や世代交代などにより、家族に受入れ能力がない |
| 6. 本人が居住を希望する住宅周辺の医療や社会資源が不足している |
| 7. 本人が居住を希望する住宅周辺の住民が反対している |
| 8. その他（ ） |

→問6へ

問6 その他、本人の地域生活移行の取組上の問題、困難な経験、ご要望がありましたら、お書きください。

御協力ありがとうございました。